

多様性を考える 映画祭

長野市発達支援研修啓発事業

この社会は、いろいろな人でできている
いろいろな生き方であふれてる
そんなドキュメンタリー映画を集めてみました

2021年2月13日(土) 午前10:00~午後5:00
(9:45より入場できます)

長野市芸術館アクトスペース 定員140名 入場無料

*通常座席数の半分に入場を制限しています。申込不要ですが、定員を超えた場合は入場をご遠慮いただきます。

気になる作品をご覧ください。全部気になるという方は、全部ご覧ください!

上映時間

字幕付 監督 真鍋 俊永

10:10~12:05

みんなの学校

不登校も特別支援学級もない、同じ教室で一緒に学び、みんなが笑顔になるために取り組んだ大阪市立南住吉大空小学校の挑戦を追い続けた教育ドキュメント。「学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。」平成25年度文化庁芸術祭大賞など受賞。



©関西テレビ放送

上映時間

12:55~15:00

字幕付

監督 坪田 義史

だってしょうがないじゃない

精神に不調をきたした映画監督が、発達障害を持ちながら一人暮らしをする叔父がいることを知る。叔父との交流を深めていく中で「親亡き後の障害者の自立の困難さ」や「障害者の自己決定や意思決定の尊重」「8050問題」にもなる住居課題などの問題に直面していくドキュメンタリー。



筒井 金庫

字幕付

監督 宍戸 大裕

上映時間 15:15~17:00

道草

自閉症、重度の知的障害を抱えながらも介助付きでひとり暮らしをする若者たちの日常を見つめたドキュメンタリー。行動障害といった重度の障害のある人が地域で暮らすことの困難さとそれを乗り越え実現させていく意義を、本人や親の葛藤や、彼らの自立支援のために献身的に活動する人々の姿を通して考えていく。



■主催 長野市 ■お問い合わせ先 社会福祉法人森と木 電話 026-259-9970 FAX 026-259-9969

◎最寄り駅:長野電鉄市役所前駅

◎駐車場:映画鑑賞の方は長野市役所緑町立体駐車場・第3駐車場をご利用いただけます。広場駐車場には車いす利用者・妊婦・ケガ等により歩行困難な方の優先駐車スペースがございます。

◎新型コロナウイルス感染予防策の実施について

入場の際はマスク着用、手指消毒をお願いします。
入場に先立ち検温及び連絡先の記入をお願いします。
※ウイルス感染の状況によっては、映画祭を中止する場合がございますので、事前にホームページでご確認ください。<http://www.moritoki.jp>